



朝・夕はめっきり冷え、寒さを感じる季節になりました。風邪も流行り出し、そろそろインフルエンザの声もきこえそうですね。日頃忙しいママたち、無理せず時にはゆっくり休養して下さいね。

ままのりあも立ち上げてからはや4年半経ちました。改めて、ままのりあが目指す療育とは？もう一度初心に戻って考えたいと思います。

ままのりあは、お子さんもママも「ありのままの自分を認め、受け入れ好きになる。自分はこれで良い！」と自信をもち今を楽しく生きる」そうやっていただくための療育機関です。だからお子さんとママたちに同じくらい情熱を注ぎ関わらせていただきます。お子さんもママたちも、同じグループに通った人との出会いを通し、気持ちを共有することで安心し、悩みを吐き出し、リフレッシュし、友だちと呼べる関係性を築くことができます。

ままのりあの「ありのまま」は放任とは違います。

その子のありのまま、ゆっくりな成長、こだわりや反復行動、プライドの高さや切り替えの苦しさ、融通の利かたなさ、空気のよめない発言、四角四面な在りよう等そのまます、ことあるごとに「ま、しょうがない」「まあ、いっか」「これがこの子の在りようなのよ…」と妥協し、許し、自分を納得させ、受け入れていく。「え？〇〇？ここでその反応？」驚いたり腹が立ったり。それがやがて面白さと余裕に変わっていく。その積み重ねを経てママは母として、お子さんはひとりの人間として成長していくのだと感じています。

ありのままを受け入れるとは、正面からお子さんと向き合うことから始まり、悩み葛藤し涙なくしては成し遂げられないことなのです。ままのりあには、そうやってお子さんを認め受け入れ、寄り添えるママたちが集って下さっています。

お子さんの集う場所として家庭、幼稚園・保育園、学校がありますが、ままのりあはその何処とも違う場所でありたいと思います。お子さんが自分の居場所として安心して過ごせる場所、自分の立ち位置を確立できる場所。そして、職員や友だちとの関わりの中で自分を発揮し自信を持てる場所でありたいと思います。

一つの例として、大昔幼稚園教諭になる前に恩師から叩き込まれた教えるの中に、子どもが自分で考えることを大切にしたいとありました。わたしはこれが療育の基本とも言えると思います。だからわたしはお子さんへの声掛けは極力控えています。むやみに誉めてはいけません。ひとりで静かに夢中で何かに取り組んでいる時は少し離れた場所で見守る。「ここにいるよ」アピールはそとしておく。油断せずお子さんの様子をさりげなく見守る。何かを達成し後ろを振り返った時初めて「すごいね、かっこいい」と一言。にことお子さんが微笑む。気持ちがいっしょになった瞬間です。そこから信頼関係が始まると思っています。お子さんのイライラに寄り添っている場面でも同じです。注意や慰めのことは必要ありません。お子さんが自分で葛藤し気持ちを沈めるのです。専門家と呼ばれる立場の者が発することは意味のある一言でなければならぬ。常日頃から自分に言い聞かせています。よけいな声掛け、意味のない言動は邪魔な刺激となり、お子さんの集中を欠く場合もあります。

そんなことを考えるとえらく大変な仕事のように思いますが、この関わりを全て、笑いのうずの中に巻き込みながら、楽しく満たされながら成し遂げていきたいと思うのです。なぜかと言うとひとりひとりが愛おしく、可愛くてしかたがないからです。かわいい！おもしろい！個性的（本人がイライラマックス状態でも！）と感じるとわたしは笑ってしまうらしいのです。ままのりあの職員たちは皆、ながほみでみかが目指す療育を成し遂げたいと頑張ってくれています。お子さんのある一つの行動について、一般的な捉え方とままのりあ流の捉え方とは違うのです。普通なら顔をしかめて深刻に受け止める場面でも、ままのりあでは笑い飛ばしてしまうかもしれません。児童発達支援でも放課後等デイサービスでも、ままのりあの在りようは変わりません。事業所がたくさんある中、選んで集って下さっているママたちに感謝の気持ちでいっぱいです。迷い戸惑う時はいつでもホットラインで連絡して下さい。



ままのりあ

〒252-0324
相模原市南区相武台1-21-5
電話 046-244-4537
FAX 046-244-4538

相模原・さんむ共通